

9月は、「世界アルツハイマー月間」、

9月21日は、「世界アルツハイマーデー」です

認知症の理解を広げましょう

1994年「国際アルツハイマー病協会」が世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心にアルツハイマー病の啓発を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めて、様々な行事や取り組みが行われています。

どんな病気？

認知症とは、色々な原因で脳の細胞が縮んだり、働きが悪くなったりするために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態を指します。

どんな症状があるの？

認知症にはいくつもの種類があります。例えば、アルツハイマー型認知症は、認知症

の原因として最も多く、脳の神経細胞が徐々に減っていくことで、初めは記憶障害の症状が見られます。

認知症と物忘れは何が違うの？

加齢による普通の物忘れと、認知症による物忘れは違います。例えば、昼ご飯に何を食べたか思い出せないといった「体験の一部」を忘れるのは普通の物忘れですが、朝ご飯を食べた「体験全体」を忘れてしまう場合は、認知症による物忘れが疑われます。

早期発見が大切

認知症は時間の経過とともに進行する病気です。完治は難しい病気ともされていますが、早期に発見して適切な治療や対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを長く続けることができます。認知症の人は何も分からないわけではありません。認知症になっても、本人に必要なことを理解して、周囲の人がさりげなく関われば、本人が望む生活を送ることができます。本人と「一緒に考える」「一緒にする」という視点に立つことが大切です。

気軽に相談を

認知症に関する悩みごとや心配ごとなど気軽に相談ください。

<普段実施している事業>

○物忘れ相談

毎月5日（5日が祝日等であれば翌日）午前9時～11時30分を定例とし、ほのぼの物忘れ相談を行っています。

○介護者家族の会「ちづの集い」

毎月第2水曜日午後1時30分～3時、ちえの森ちづ図書館で開催しています。「認知症の人と家族の会鳥取県支部」代表吉野立氏を迎え、介護をしている家族の思いを語り合い、介護についての助言等を行います。

○オレンジカフェ

住民主体で、毎月第4月曜日午前11時30分～午後1時、ほのぼのひだまりホールで開催しています。山形第一地区公民館では、毎週第3木曜日午前10時～正午に開催しています。

○認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るサポーター養成のための講座です。



智頭町 認知症
マスコットキャラクター
「キラリ」と「サラサ」